い も 類

ばれいしょ（野菜類・いも類）

病害虫	防 除 方 法	防除上の注意事項
ウイルス病	1.種いもは採種ほ産の無病種いもを使用する。 2. 虫媒伝染するウイルスに対してはアブラムシ類の防除を行う。	

かんしょ（野菜類・いも類）

病害虫	防 除 方 法	防除上の注意事項
黒あざ病	1. 種いもは健全いものみを使用し無病の苗床用土を使用する。 2. 採苗時の苗は根元を5㎝以上残し、高切りとする。 3. 貯蔵するいもは必ず健全で傷のないものだけとし、前年発病した貯蔵穴は使用しない。 4. 常発地では種いもや苗は次の方法で消毒する。 　種いも温湯消毒 ： 47～48℃の温湯に種いもを40分間浸漬する。	1. 主として種いもから伝染するが、ほ場では野ネズミ、ハリガネムシによる媒介が大きいので、これらの防除も必要である。 2. 温湯消毒は温度及び浸漬時間を厳守し、消毒後種いもの冷えないうちに熱の上がっている苗床に伏せ込む。 3. 排水不良畑を避けて高うね栽培を行い、有機質肥料やアルカリ性肥料の多用を控えることも効果がある。
斑紋モザイク病	1. ウイルスフリー苗を植える。 2. アブラムシ類の防除を徹底する。	

さといも（野菜類・いも類）

病害虫	防 除 方 法	防除上の注意事項
軟 腐 病	1. 発病地での連作を避け、イネ科作物と輪作を行う。 2. 発病株は速やかに除去する。 3. いも類の軟腐病に適用のある殺菌剤を散布する。	1. 発病地では赤芽いもを栽培すると被害は少ない。
キノコバエ類	1. 発生地では収穫後直ちに収納する。	1. キノコバエは収穫後放置したイモに産卵し、貯蔵期間中に幼虫が発生して食害する。

やまのいも（野菜類・いも類）

病害虫	防 除 方 法	防除上の注意事項
斑 点 病	1. 多発ほ場では連作を避け、イネ科作物などと輪作を行う。	1. 窒素肥料の過用を避けカリ肥料を十分施す。